

「tag(たっぐ)」は多賀城をもっとよいまちにしていきたい、社会や地域のために何か活動したいという方を応援する月刊フリーペーパーです。



SHOP PICKUP

カワラバン / 雑貨市初出展!



地域の川に興味を持つことで、川もまちも好きになってもらえるよう、環境学習や体験活動を行っています。
雑貨市では「おさかなスタンプ」を使ったワークショップを行います。

マオメオ・キャットクラブ / トークイベントにも登場します!



飼い主のいない猫の保護・譲渡や、猫を飼う人に不妊手術、室内飼育、終生飼育の徹底などの啓蒙活動をしています。
雑貨市では手づくりのねこ雑貨を販売します。

家庭文庫ちいさいうち / 一日限りの読み聞かせライブも!



毎週水曜日に自宅を開放して家庭文庫を開き、本の貸し出しやおはなし会などのイベントを行っています。
雑貨市では絵本の読み聞かせ、手づくりアクセサリーの販売を行います。

つくり手の想いがこもった ぬくもりある クリスマスプレゼント

今年で6回目を迎える冬恒例の「たがさぼのクリスマス雑貨市」。社会にやさしい商品の販売の他、今回はステージプログラムとして、トーク・体験イベントを開催し、商品や出展団体のことをもっと知ることができます。今年のクリスマスプレゼントは、つくり手の想いがこもった贈りものを選んでみませんか?

たがさぼのクリスマス雑貨市

2018年12月9日(日) 午前10時30分～午後2時30分

会場 多賀城市市民活動サポートセンター
入場無料・出入自由

問合せ 022-368-7745

くわしくは「たがさぼPress」をご覧ください。



雑貨市ボランティア募集中!

今年もボランティアのみなさんにお手伝いいただき、開催します。関心がある方はたがさぼまでお問い合わせください。

Hint from "Tagasapo Press"

ヒント from たがさぼPress

たがさぼのブログから、地域づくりに役立つ記事をご紹介します!

2018年09月20日(木)掲載 /
1日1通の「きずなメール」が「孤育て」を防ぐ

2018年09月25日(火)掲載 /
エレベーターに乗っている30秒で活動を知ってもらう

2018年10月16日(火)掲載 /
イベント・講座の広報～情報整理・文章作成編～

“たがさぼPress”とは?

たがさぼスタッフによるブログ。興味がわいたら「たがさぼPress」へ!
<http://blog.canpan.info/tagasapo/>



「tag」のアンケートへご協力をお願いします!



今後の誌面づくりの参考にしたいと思いますので、ぜひご協力をお願いします!
また、以下のような情報もお待ちしております!
○自分たちの団体を取材してほしい
○ユニークな活動や、地域のためにがんばっている団体・人を知っている
○こんな話題を取り上げてほしい

Notice from Tagasapo

たがさぼからのお知らせ

たがさぼが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

TAGAJO Future Labo 4th season マイアプローチ発表会 参加者募集

「地域で何かに取り組みたい!」「特技を地域で活かしたい!」これまで5回にわたって、想いを深めるワークショップや地域づくりの先輩からの学びに取り組み、受講生それぞれが自分の想いをかたちにしてきました。
今回は受講生の発表と、ゲストトークなどを行います。ゲストは、一般社団法人ワカツク代表理事の渡辺一馬さん。地域づくりに関心のある方、何かはじめていたいと考えている方、ぜひご参加ください。一歩ふみだすヒントや、新たなつながりが見つかるかもしれません。

日時 2018年12月2日(日)午後1時～午後4時
会場 多賀城市市民活動サポートセンター 大会議室
費用 無料
定員 30名(先着順/要事前申込)
申込み 多賀城市市民活動サポートセンター窓口または電話にて
問合せ 022-368-7745(多賀城市市民活動サポートセンター)





きれいな多賀城駅前で「おかえりなさい」

企業のCSR活動を知る 多賀城市建设災害防止協議会

建設用の安全ヘルメットや作業服を着た人たちが、JR仙石線多賀城駅周辺で黒ずんだガムをはがしたり、堤防の除草をしている姿を目撃したことはありませんか？今回はまちをきれいにするために、どのようなことができるかを考えます。

1 「クリーンアップキャンペーン」とは

毎年7月末に多賀城駅周辺で行われる「クリーンアップキャンペーン」。多賀城市建设災害防止協議会が実施しています。この活動をはじめたきっかけは、社会や地域への貢献を考えていた協議会の「8月のお盆で多賀城へ帰省する人たちの多くは多賀城駅を利用する。駅前をきれいにしておきたい！」という想いからでした。2002年にはじまり、今年16回目となった今でも、その想いは参加者に受け継がれています。今年は46社、50名が

参加しました。一日限り・午前中の活動ですが、作業中に通行人から「ご苦労さま」と声をかけられることもあるそうです。



▲砂押川堤防の除草作業。トラックなどは各企業の自前のものを活用しています。

「多賀城市建设災害防止協議会」とは？

多賀城市に事業所を置く土木・建設・水道・電気・造園に携わる企業が集まり1989年に設立されました。工事現場の事故防止の他、地域の健全な発展を目的に掲げて現在50社が参加しています。2001年には多賀城市と「災害時における応援協力に関する協定」を結び、東日本大震災に際しては重機による車の片付けやブロック塀の撤去など復旧に尽力。その他多賀城市の総合防災訓練に協力したり、大雨など災害のおそれがある時は自前の土のうを大代や山王の公民館へ配置し市民に提供しています。

2 たがさぼスタッフも参加しました

今回清掃に同行させてもらってあらためて気づいたのは、駅周辺の歩道に付着しているガムの多さです。みなさんも多賀城駅を利用する際に少しでも意識を地面に向けてみてください。黒ずんだガムをかなり見かけると思います。汚れをきれいにする 것도大切ですが、ガムを捨てない・捨てさせないという雰囲気づくりも必要かもしれません。

3 みんなで「まちをきれいに！」を考える

たがさぼでは、10月11日(木)に講座「ひろってハッピー！ごみひろいできれいなまちを」を開催しました。ゲストトークと参加者同士の対話を通して、きれいなまちにするために、またそこから魅力あふれるまちにするにはどうするかを考えました。参加者から出てきたアイデアをいくつかご紹介します。



こんなアイデアが出ました

- 政庁跡をもっときれいにするために、ごみを気軽に拾えるようなしくみや雰囲気をつくりたい。
- 思わずごみを拾って入れたいようなごみ箱を設置する。
- 芋煮会×ごみ拾い。拾ったあとにみんなで楽しむ。



▲のぼりがキャンペーン作業中の目印です。



▲金属のヘラなどを使い地面に張り付いたガムをはがします。



▲作業後の閉会式の様子。暑い中、おつかれさまでした！

What's ? //



「tag」には、多賀城(tagajo)の頭3文字、みんながタッグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



@tagasapo

たがさぼのツイッターへのフォローをお願いします！



<http://www.tagasapo.org/>

2018年4月にリニューアル！
「たがさぼ」のホームページはこちら